

# 2005 年中堅・中小企業の IA サーバ導入実態調査報告

ノーク・リサーチ(本社〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5:代表伊嶋謙二 03-5629-2163、URL : <http://www.norkresearch.co.jp>) では 2005 年中堅・中小企業の IA サーバの導入実態調査を実施し、その分析結果を発表した。

## <中堅・中小企業の IA サーバ導入実態調査のポイント>

- グループウェアが 6 割の導入率。高い IP 電話への関心
- 3 割弱が「NT サポート切れ」を知らない
- Linux の利用率は 25%。4 割強が今後使いたい
- 設置サーバシェアは NEC がトップ、2 位以下は混戦、デル漸増
- セキュリティはほとんど対応済み、しかし「個人情報保護対策」は 6 割が未対応
- サーバ導入企業の半数が今後の導入計画あり

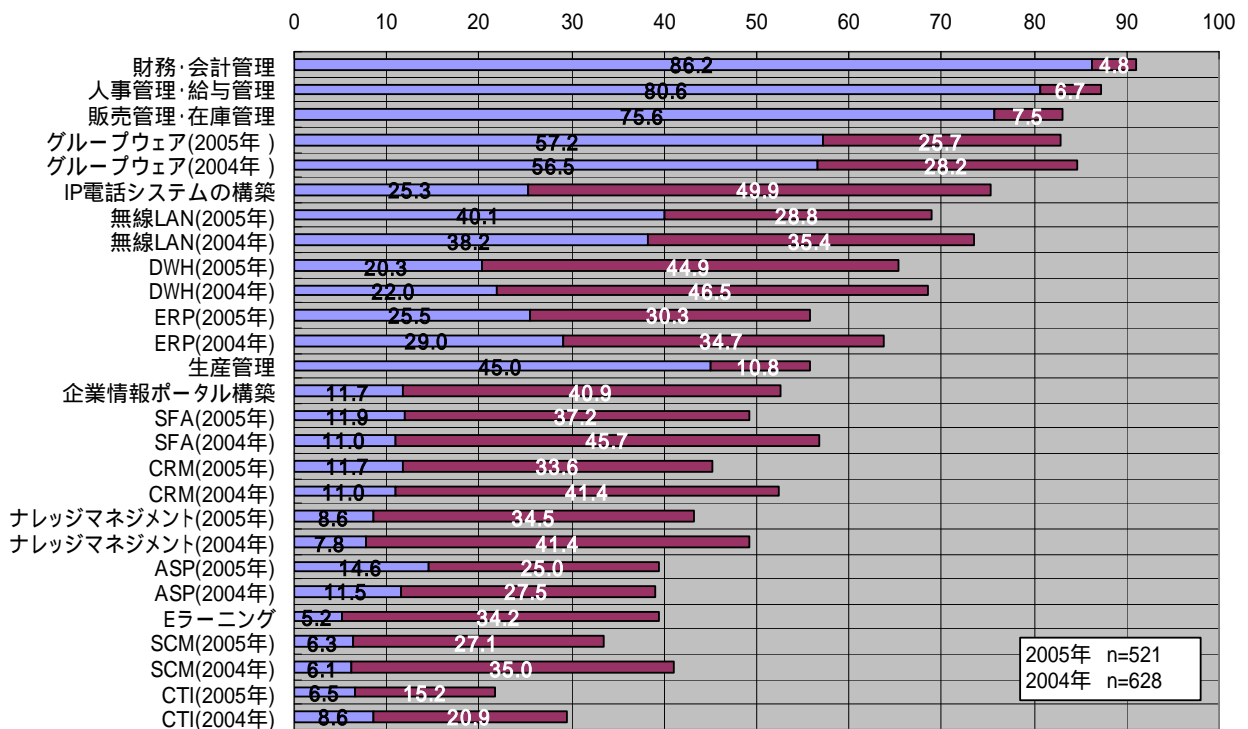
**対象企業**：全国の民間企業（年商 5 億円以上 500 億円未満）有効回答数 524 社

**調査方法**：Web アンケート **調査分析期間**：2005 年 1 月～3 月

## グループウェアが 6 割の導入率。高い IP 電話への関心

中堅・中小企業がメインで利用しているサーバの IT アプリケーション導入状況の導入実態では「財務会計」86.2%、「人事管理」80.6%、「販売管理」75.6%と基幹系業務システムの導入割合が極めて高い結果となった。

### ITアプリケーションの導入状況



■ 導入利用している+導入しているが強化/改善を図りたい+構築中・設計中(新規) ■ 検討中(新規)+関心はある

ITアプリケーションの導入状況で、2004年との比較では総じて大きな変化は無いが、導入率の高いアプリケーションでは「グループウェア」が2005年57.2%と前年を上回っている。また無線LANは40.1%と4割を超えた。やはり昨年を上回っている。

「IP電話」は導入率こそ25.3%だが、「導入検討中」が49.9%と極めて高い関心度合いを示している。

逆に10%前後の低い導入率なのが「CRM」「SFA」「SCM」「CTI」などの戦略系アプリケーションの導入率だ。しかも検討中を含めてみても低位に属している結果となった。

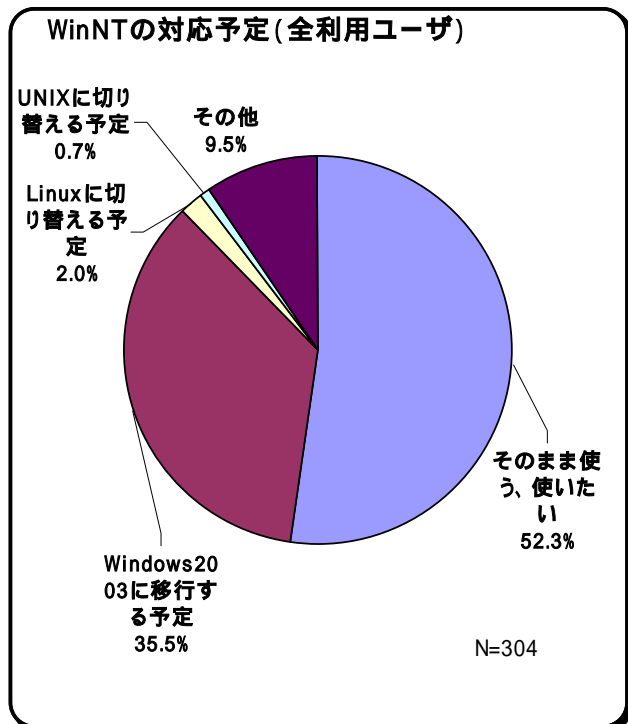
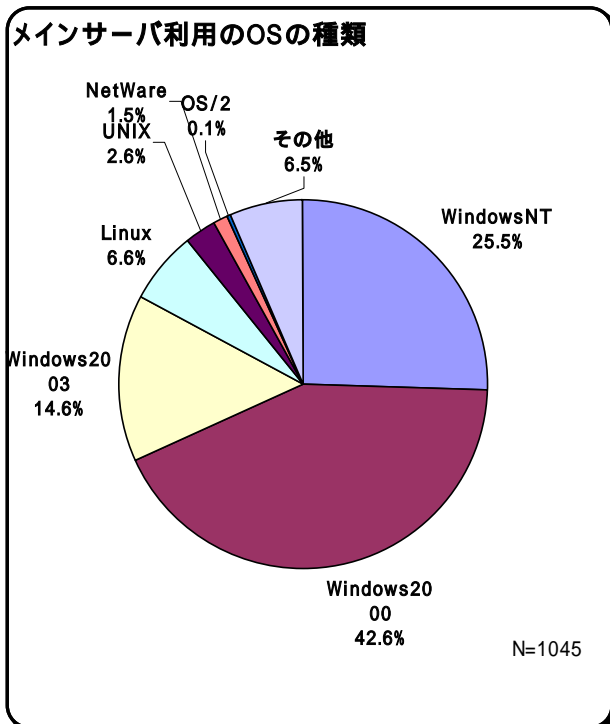
企業のコアコンピタンスを活用すべき戦略系アプリケーションの導入率が低いということが分かる。期待されながら導入の進まない新ITアプリケーションは今後大きなインパクトのある流れがこないかぎり、一挙に本格導入には至らないだろう。少なくともここ2.3年のうちにブレイクする可能性は低い。関心度の減少も気になるところだ。ASPは2005年14.6%と昨年の11.5%を3ポイント以上上回っているが依然として導入率は低いままだ。

### 3 割弱が「NTサポート切れ」を知らない

メインサーバ利用のOSは明らかにWindowsのニューバージョンに移りつつある。主力はWindows2000の42.6%であった。またWindowsNTは25.5%と1/4の企業が未だに利用しているだが、そのベンダサポートは2004年12月に停止されている。その事実については73.9%の企業は認知していたが、逆に「知らなかった」企業は26.1%もいたことが指摘される。

さらにNTを利用している企業は全体（メイン利用以外含む）で58.3%いるが、その内52.3%と半数以上が今後もNTをそのまま使うと答えている。しかしNTのサポートは切れていることから、サポートの必要性が生じた場合ベンダはどう対応するのか？

またNTをそのまま使い続ける理由としては「移行する必要性を感じない」が61.6%と圧倒的だ。NTがいわゆる使い慣れた「枯れた」すぐれたOSであることの証左ではあるのだが、2世代前のOSの支持がこれだけ高いのもベンダとしてどう対応するべきか微妙なところだ。



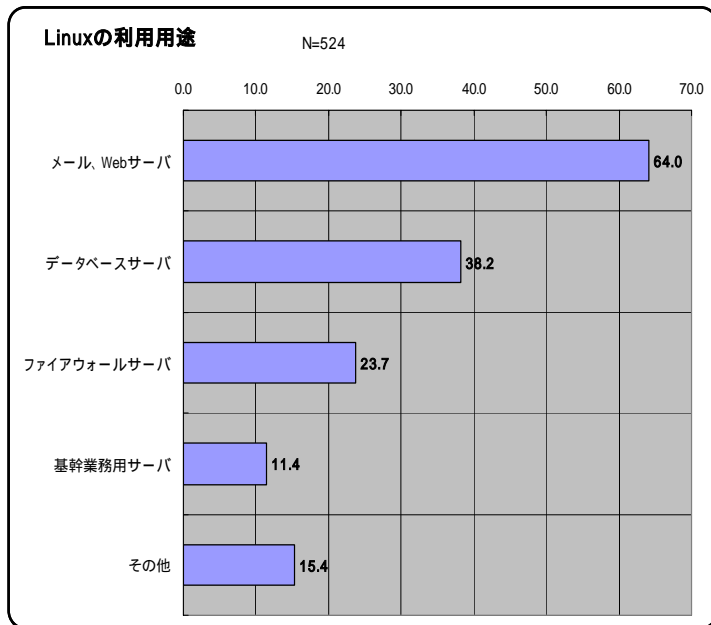
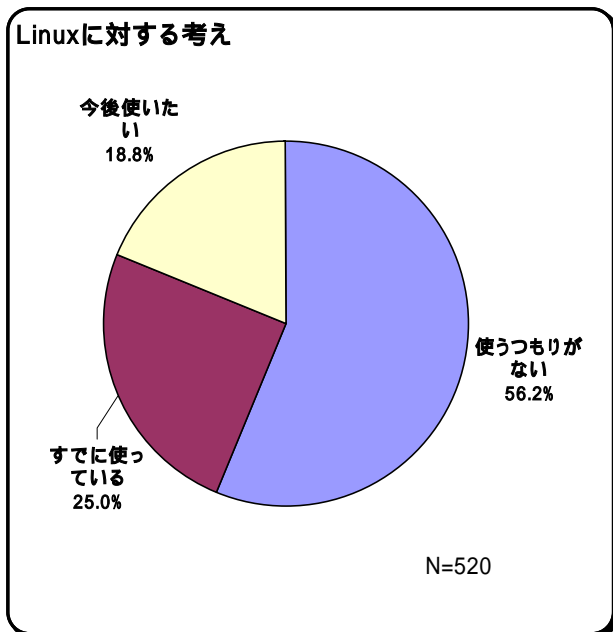
### Linuxの利用率は25%。4割強が今後使いたい

メインサーバにおけるLinuxの導入率は6.6%だ。Linuxの導入意向は56.2%と「半数以上が使うつもりがない」と答えている。ただしメイン利用含む全サーバでは「現状利用している」のは25%で、「今後使いたい」と合わせると43.8%となっている。徐々にではあるがLinuxの使用率が高まっていくことが予想される。

商用 Linux のベンダシェアではレッドハットが 62.7%と圧倒的に高い。ついでターボリナックスは 32.9%だ。ミラクルリナックスはわずかに 8.3%のシェアだ。

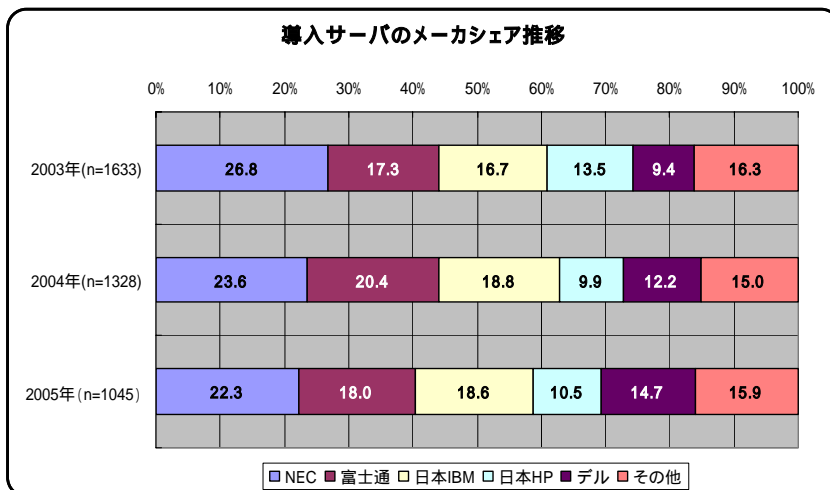
Linux の利用用途は「メール・Webサーバ」が 64%と圧倒的だ。次いで「データベースサーバ」が 38.2%だ。逆に「基幹業務用」では 11.4%に過ぎない。エンタープライズ利用（基幹系業務）での Linux が増えないことには中堅・中小企業での利用割合は急激に増えることはないだろう。「パッケージ・アプリケーションの少なさ」30.8%も要因の一つだ。

また「Linux を使うつもりがない理由」でもっとも高いのが「現状の OS に満足している」の 49.7%だ。とりまなおさず Linux に置き換えるだけの魅力に乏しいのがその要因だ。NT が逆に支持されていることの裏返しの結果だ。「サービス/サポートが不安」も 47.6%と高い。



### 設置サーバシェアは NEC がトップ、2 位以下は混戦、デル漸増

設置メーカーシェアはかなり混戦状況を示し始めている。NEC が 22.3%でトップだ。やはり中堅・中小企業に根強いところを見せている。2 番手は IBM、富士通で、NEC とは 4 ポイント程度の差だ。デルは 14.7%とシェアを高めてきている。NEC、富士通、IBM の上位 3 社にデルが肉薄しつつあるのが顕著に読み取れる。デルの攻勢は、リテラシの高い中堅・中小企業、新興企業などを中心としてシェアを拡大している。現在中堅・中小企業がサーバに求めている低価格、情報系利用、単機能などの要件を最も満たしているデルだからだ。



### セキュリティはほとんど対応済み、しかし「個人情報保護対策」は 6 割が未対応

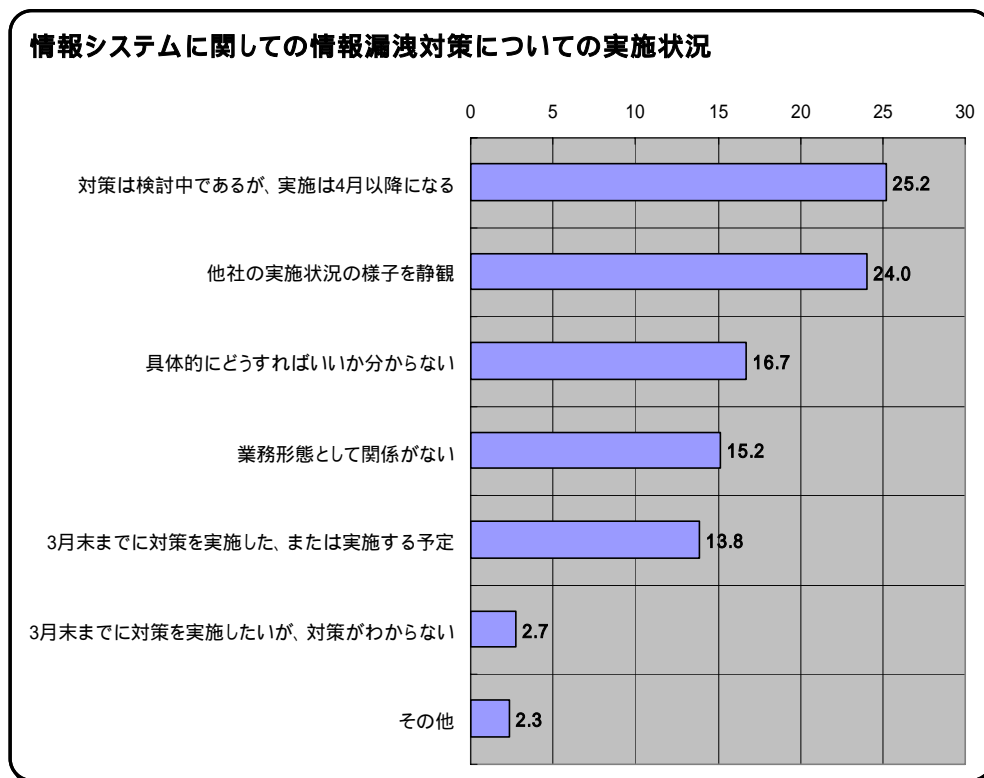
ネットワークセキュリティ対策への実施についてはほぼ 100%の企業が対策済みである。中でも「ウイルス対策ソフトの導入」が 90.6%と高い。次いで「不正アクセスの防止」68.9%となっており、外部からの侵入を防ぐ対策はほとんどが対応済みだ。しかし社内向けの「アクセス制限を設けている」のは 35.1%と対応割合が低いのが特徴的だ。この点については「個人情報保護」についての対応の遅れに関係が深い。

企業のネットワークに対して「セキュリティ対策を何も実施していない」割合はわずかに 1.1%に過ぎないため、これらの実施していない企業も今後は何らかの対応をすることになるのは間違いない。少なくとも外部からの侵入に対する対応はほぼ 100%行っていることになる。

個人情報保護法の 2005 年 4 月施行にあたって、公的な制度資格であるプライバシーマークについては 63.1%がその取得を考えていない。「4 月以降取得」を考えている割合を含めても、2 割に満たない企業しか対応していないことが分かる。

一方「個人情報情報漏洩対策」についての実施状況では、「具体的に個人情報漏洩に対策をすでにおこなっている」のはわずかに 13.8%に過ぎない。「4 月以降に実施を計画している」のは 25.2%、「実施する意向を持つが対策が分からない」2.7%を含めても 41.7%が対策を実施または計画という結果だ。

逆に言えば約 6 割の企業がまだ未対応ということになる。業界で騒がれている割には、企業の関心の低さが指摘される。



### 半数が今後の導入計画あり

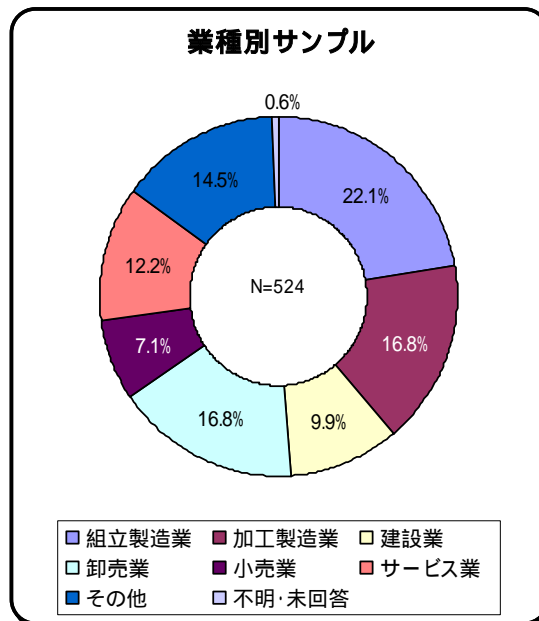
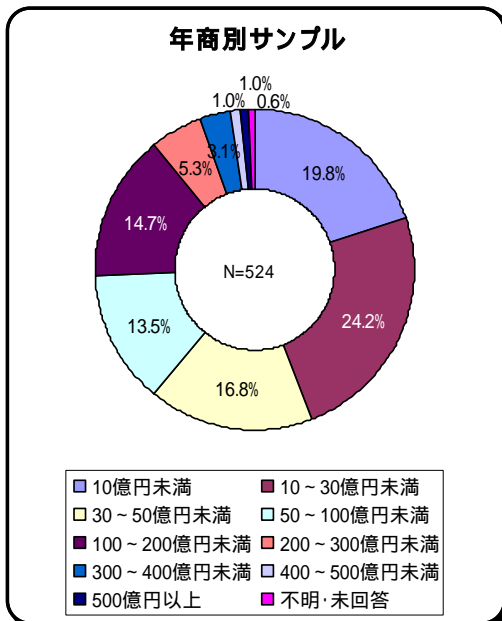
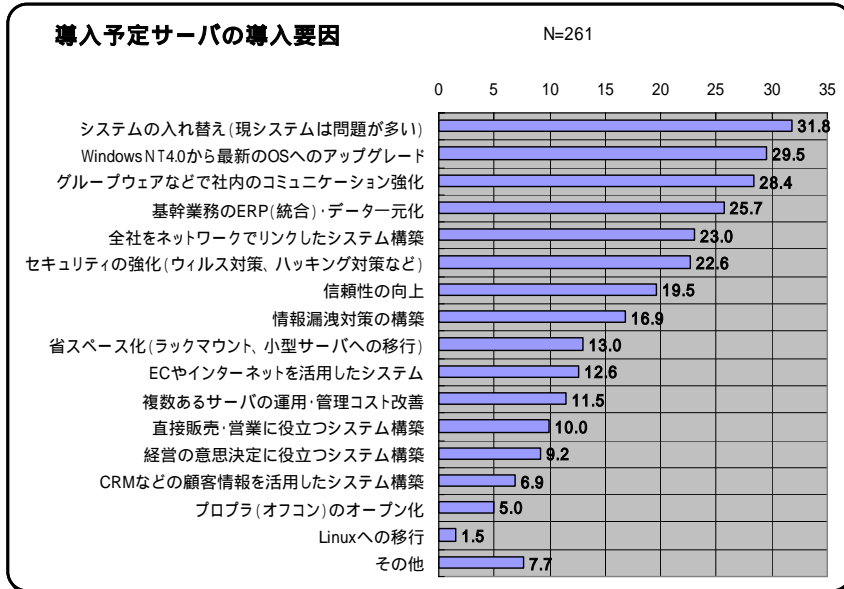
サーバの今後の導入予定では「導入の検討・計画・考慮」を合わせると 50%だ。半数は導入意欲があることが分かる。前 2 年が「導入検討、計画あり」が半数を下回っていたが、2005 年は丁度 5 割の割合と高まっている。少しずつではあるが導入意欲は再び上向きの傾向を示し始めているといえよう。

サーバ導入予定している企業は「半年以内」、「1 年以内」ともに 33.1%と合わせて 7 割近くが 1 年以内に導入を計画していることが分かる。「時期未定」は 20%と少ない。1 年以内導入は 33.1%と昨年と比較すると大きく上回った。1 年以内の導入割合は 66.2%と過去最高値を示す、導入時期が明確な現実味の高い導入予定といえる。

導入予定の要因となるのは「システムの入替え」のためが最も多く 31.8%を占めた。低価格化、スペ

2005年中堅・中小企業のIAサーバ導入実態調査報告 リリース  
 ック不足などの要因もあり、現システムに問題ありと考えている企業が多いことが分かる。次いで「NT から 2003 などへのアップグレード」で 29.5%が要因としている。また社内情報系の整備目的である「グループウェアなどで社内のコミュニケーション強化」が 28.4%となっている。

逆に低いのが「直接販売・営業に役立つ」「経営の意思決定に役立つ」「CRM 活用」などの戦略的な活用を目的とした導入要因が少ないが目立つ。



当調査データに関するお問い合わせ



ノーク・リサーチ  
 担当：伊嶋 謙二 いしま  
 e-mail: [pressr@norkresearch.co.jp](mailto:pressr@norkresearch.co.jp)  
 〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4 - 12 - 5  
 電話 5629 - 2163 FAX 5629 - 2164  
 URL: <http://www.norkresearch.co.jp>